

放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：令和7年2月28日

事業所名：東予こどもデイ青空

事業所スタッフ及び保護者の皆様の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。

評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かして参ります。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちら ともい えない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちら ともい えない	いい え	わから ない		保護者の方のご意見
環境・ 体制 整備	1	86%	14%		定員10名利用の際は、特性に応じ、室内・室外に分かれたりする配慮を行っています。	95%	5%				・2階の使用については使用条件が厳しく、断念しました。
	2	71%	29%		法定人数を守りつつ、利用児の特性に合わせた人員配置をしています。 パートさんの負担が増えているので、人員増を望みます。	75%	5%		20%		・引き続き、安全確保と支援の質向上のため、出来る限り余裕ある配置に努めます。
	3	86%	14%		その時々で必要な環境は作っていると思いますが、設備自体は適切か？	100%					・引き続き、利用児の特性にあわせた環境整備、情報伝達方法の改善に努めます。
	4	100%			毎日徹底した清掃と除菌、換気に努めています。	90%	10%			いつもきれいにされている。	・今後もインフル、コロナ等感染症対策の徹底を図ります。
業務 改善	1	71%	29%		広く職員が参画していると思うが、実際のところはわからない。						・シフト勤務の弊害がありますが、工夫を凝らして積極的な参画を促していきます。
	2			100%	第三者評価は受審していません。						・第三者評価は弊社にとってハードルが高いですが、積極的に他者評価を求めています。
	3	100%			毎月外部講師を招いて、リモート等で社内研修を行っています。						・研修内容が日々の支援に反映するよう、支援の課題と研修内容をリンクさせた議論を深めています。
	1	86%	14%		作成と公表が遅れましたが、説明文章と共に各ご家庭に配布しました。	95%				5%	・今後保護者との会話の中で、内容の説明に努め、理解を深めて頂きたいと思っています。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見		
適切な支援の提供	2	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での放課後等デイサービス計画の作成	100%			もっと色々なアイデアを出し合って、計画策定に携わっていきたい。	100%				話し合いをしているので、よく作成されている。	・まずは、対象児が内包する強い思いは何か？ 問い続けていきます。
	3	放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	86%	14%		自分の確認が足りておらず分からない。	100%				丁寧な話し合いの上、設定されている。	・スタッフ全員で、ガイドラインの再確認を行います。
	4	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた放課後等デイサービス計画の作成	86%	14%		毎日、予定の集団活動を設定して、できるだけ集団の中で揉まれながら活動できるよう支援している。						・特性に応じて個別・集団のバランスを図りながら、関係性が広がっていくよう支援します。
適切な支援の提供（	5	放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	86%	14%		放デイ計画を作成出来るように、スキルアップを図りたい。	100%					・日々計画に沿った支援ができるよう、活動記録に予め個別の5領域に添った支援の到達点、注意事項を示しています。
	6	チーム全体での活動プログラムの立案	71%	29%		ミーティングで、利用児の特性などを考慮して立案するよう努めていますが、担当が決める時があります。						・担当が原案を提出しますが、それをスタッフ全員でブラッシュアップするよう、努めています。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	100%			出来る限り固定化しないように努めてはいますが、ルーティンが必要な利用児がいるため、固定化してしまう傾向は確かにあります。	95%			5%	半期に一度話し合いをしている。	・感染症対策の制約が軽減され自由度が増しているため、子どもの笑顔を想像しながら、多彩な活動プログラムを計画したい。
	8	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	71%	29%		課題は設定していますが、その日その日で状況が変わるので、きめ細かくは難しい時があります。						・引き続き子どもの特性や課題に応じた活動を計画、実施していきます。
	9	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	100%			毎日ミーティングを行って話し合い、記録に残し、利用児の特性に合わせたリスク回避対策も確認しています。						・毎日のミーティングの中で、前日の支援内容、評価も行い、記録にとどめています。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見		
続き	10	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	71%	29%		振り返りは、職員同士が自然に話し合える環境にしています。 全員揃っての振り返りが難しいので、LINEグループ、共有ノートへの記録、全員へのメール報告など、共有に努めています。						・当日は制約が多いため、翌日のミーティングで出勤だったスタッフから詳細な説明を得て、より良い支援方法の検討や利用児の現状把握を行い、課題を炙り出し、支援に活かしています。
	11	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	100%			シフト勤務のため、より詳細な記録を後日補足するなどして、記録に努め、活動後の振り返りを行っています。						・LINEグループなど、手軽な方法で即時性、データへの良好なアクセスを確保しています。
	12	定期的なモニタリングの実施及び放課後等デイサービス計画の見直し	100%			定期的実施を継続していますが、利用児の生活環境が大きく変化しそう際には、先行実施します。						・現在は定期的開催としていますが、子どもの顕著な変化が見られる時は、先手の見直しを実施します。
関係機関	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	100%			児発管が主ですが、必要に応じて、担当児童指導員も参加します。						・同左
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施				対象児がいません。						
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備				対象児がいません。						
	4	放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	86%	14%		適宜連絡をしています。情報共有が密かと言われると、薄いところもあります。						・主な内容は相談支援専門員から得るが、学校お迎え時などの機会を捉えて、引き続き、情報共有の深掘りを行いたい。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見		
との連携	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	43%	57%		情報共有は出来るだけ関係機関に求めているが、きちんと連携がとれていない時がある。 保育所などと十分な情報共有があるか分からない。						・主な内容は相談支援専門員が担当が、引き続き、必要に応じて情報提供と連携を行っていききたい。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	43%	57%		助言や研修を受けるチャンスが欲しい。						・専門機関とは、診断書など文書中心となるが、必要に応じてこちらから積極的に支援に資するアドバイスを求めている。
	7	放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	43%	43%	14%	外出先の公園で自然発生的に交流が生まれることがあるので、積極的に活動予定に入りたい。	50%	5%		45%	図書館や近くの公園にも行っている。	・引き続き、公園やお出かけの時、出会った地域の子ども達との挨拶や、スムーズで友好的な交流を心掛けていきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	29%	42%	29%	地域の自治会に加入しており、可能な限り役割を担っています。						・引き続き地域に住む方々との挨拶やコミュニケーションを積極的に取る様、心掛けていきます。
	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	86%	14%			95%	5%				・利用契約締結時には説明資料を用いて、丁寧な説明を心掛けています。
	2	放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	86%	14%			100%					・アセスメント内容と5領域の計画を確認しながら、支援の目標、支援方法などの丁寧な説明を心掛けています。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	71%	29%		きちんと話を聞いて、必要に応じて対応していると思う。	60%	5%		35%	半期の話し合いで、とてもこちらも勉強・参考になる。	・依然力不足のため、お話を拝聴するだけのスタンスですが、ご家族のお気持ちに寄り添い、視点を変えた楽しい提案等が出来る様、努めていききたい。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見		
保護者への説明責任・連携支援	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	100%			毎日の送迎時に様子をお伝えしています。	95%	5%				・引き続き、子どもの状況を保護者様に積極的に発信して、また感想を伺い、共通理解を深めていきたい。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	71%	29%			100%					・今後も、保護者様からの相談に適切に応じられるよう、知識やスキルを身に付けたい。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援		57%	43%	保護者を招いた活動を取り入れたい。	35%	15%		50%	・利用している保護者のお家から、スタチを頂き、うれしかった。	・保護者ランチ会など、企画したい。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	71%	29%			95%	5%				・今後も担当者を中心に対応にあたり、保護者様等からのご意見を真摯に受け止め、より良い施設運営を目指します。周知についても対応したい。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	71%	29%			95%	5%				・今後も保護者様、利用者様の実態に合わせ、直接お話をしたり、ICT機器を用いて意思疎通、情報伝達に努めます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	72%	14%	14%	月毎の活動予定をお知らせをしています。もっと細かく情報を発信するように努めたい。	80%	5%		15%		・時季をみた発信と毎月の行事予定のお知らせは実施しています。今後、安全確保のための各種マニュアルと関連付けた注意事項等の発信に努めていきたい。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	86%	14%		顔写真の取扱い範囲について、家族の意向を確認しました。	100%					・今後も、個人情報の取り扱いには十分注意して参ります。
1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	71%	29%		職員が周知しているマニュアルはあるが、保護者には充分周知されていないので、周知できるようにしたい。	85%	5%		10%	・文書で通知してもらっている。	・今後も、自然災害や感染症など、各時季に応じた注意点や対応などを保護者様に発信して参ります。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちら ともい えない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちら ともい えない	いい え	わから ない		保護者の方のご意見
	9		57%	43%	・現在対象児はいないが、身体拘束や行動制限の必要性を内部で議論し、保護者への説明、書面同意、個別支援計画に記載し経過を記録していきます。終了時同様。						・同左
満足度	1					95%	5%			・喜んで通っている。	・ご指摘を受け止め、100%を目指します。
	2					85%	10%		5%	・喜んで通っている。	・ご指摘を受け止め、100%を目指します。
	3					90%	5%		5%		・ご指摘を受け止め、100%を目指します。